

金沢八景の共同住宅

～イナノビルプロジェクト～

■はじめ

計画地である横浜市金沢区「金沢八景」は名前の通り、かつて歌川広重をはじめとする多くの絵師によって描かれた景勝地が広く知られており、昔から景観に富んだ地域である。



歌川広重（平潟の落雁）

時代を経た現在でも平地に入り込んだ平潟湾や瀬戸神社、遠くに見えるシーサイドパラダイスなど見える姿は違えど景観に優れた地域である事は変わらない。



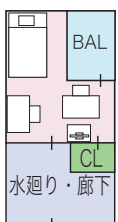
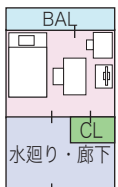
6階からの景色

■設計趣旨

こうした状況を踏まえワンルールの共同住宅を設計するにあたり、周辺の風景を取り込みつつ、成りなワンルールでは成し得なかった1～2人暮らしでの新たな生活のあり方を提案する。

■ダイアグラム

一般的なマンション型のワンルールはバルコニーがパツファゾーンとなり外との関係が希薄である。また家具配置についても一見自由度があるように見えるが、必要最低限の物を配置するとレイアウトは限定的である。



そこで小さな空間（有効w1400）を設けてバルコニーを最小限に設定し、外との関係を図りつつ1Kながらも1DKのような使われ方を目指した。

1DKでの生活を促すべく、ロールスクリーンを採用し部屋一体で使いたい時、閉じたい時など居住者の気持ちに応じて変化していく。新型コロナウイルスにより在宅勤務が普及されはじめ自宅に小さな空間が求められている。ワンルールにおける新たな生活様式の一部となることを期待したい。

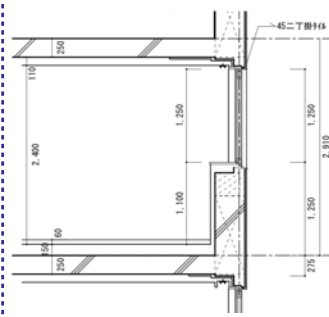


■概要

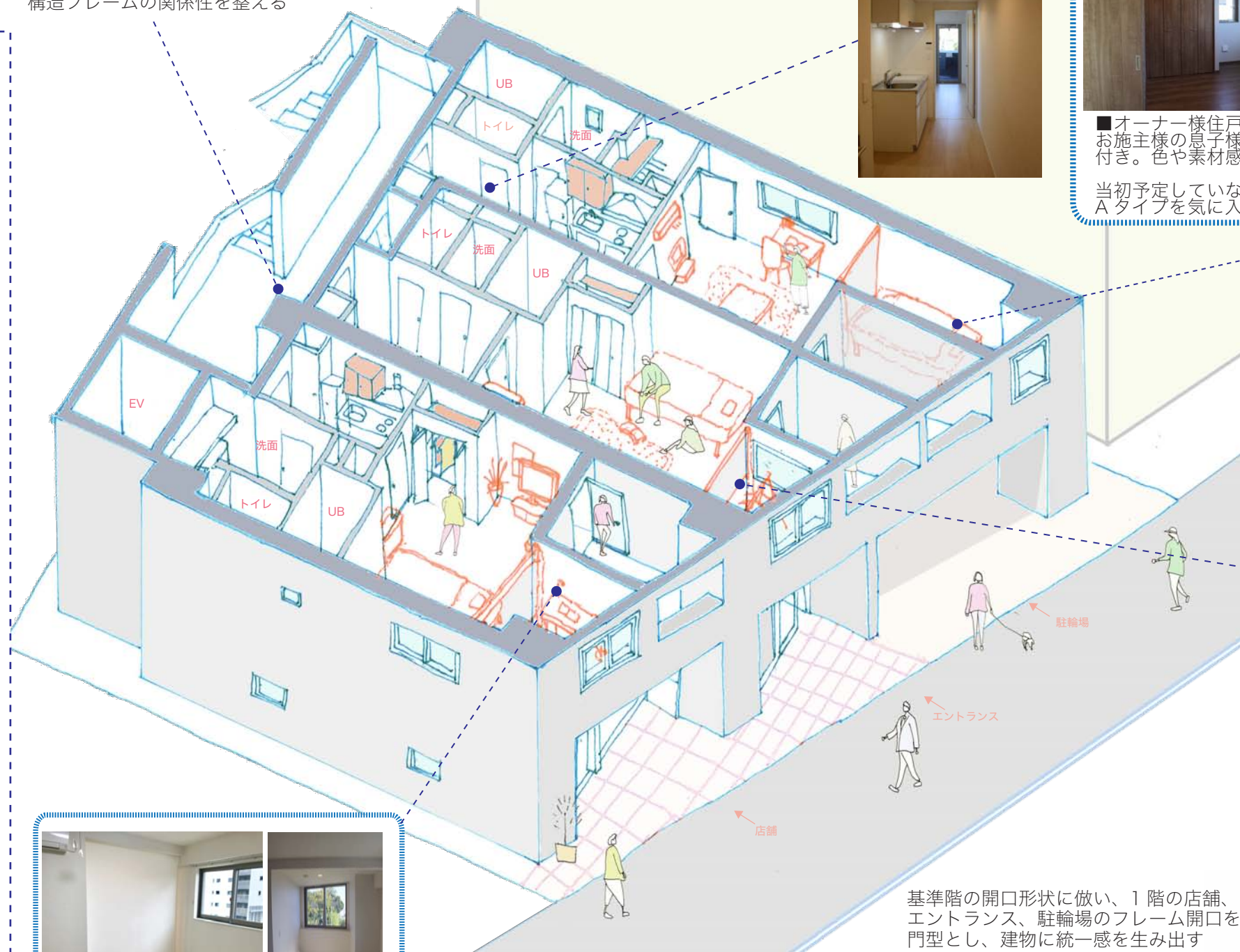
施主 個人事業主
場所 横浜市金沢区瀬戸
構造 RC造
用途 1階店舗、共用部
階数 2～5階ワンルール
6階オーナー様宅
延べ床面積 657.49㎡

■構造フレーム

バルコニー側では逆梁工法を採用し、開口を最大限確保しつつ、天井面をフラット形状とした。



直階段を採用することで、EVと構造フレームの関係性を整える



■Cタイプ
妻側にも窓を設けることで部屋全体に外気を提供する。



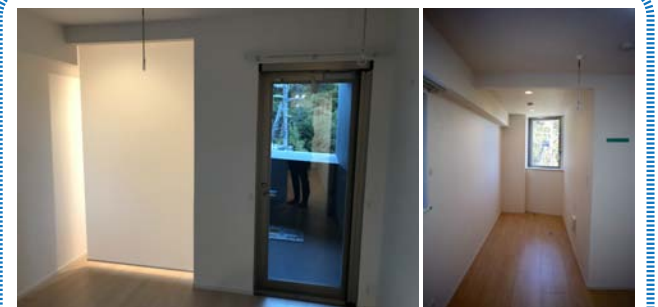
金沢八景駅から徒歩3分、道路挟んだ目の前に瀬戸神社があり、今後大きな建物が立たない事が予想される優位性をもった敷地である。



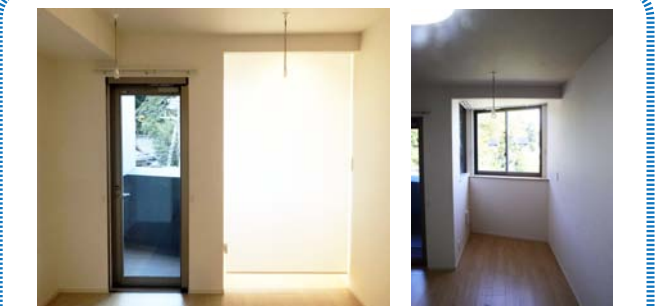
■オーナー様住戸

お施主様の息子様ご夫婦が住まわれる予定。3LDKのルーフバルコニー、付き。色や素材感をなるべく合わせて統一感のある空間とした。

当初予定していなかったお施主様の娘様にもAタイプを気に入ってもらい仕様を調整した。



■Aタイプ
小部屋が長いタイプ。w1400に設定されている為、ダブルベッドまで設置できる



■Bタイプ
ロールスクリーンに小部屋のダウンライトが灯となる

基準階の開口形状に倣い、1階の店舗、エントランス、駐輪場のフレーム開口を門型とし、建物に統一感を生み出す



ファサードの作り方

基準階はバルコニー開口と窓のサイズをなるべく合わせる事で一般的なマンションのイメージから離れたいわゆる「ホテル」のような佇まいを目指した。

